

# 大会宣言

三重県公立小中学校教頭会は『未来を生きる力を育む 魅力ある学校づくり』の主題のもとに、第55回定期総会を開催しました。

超スマート社会（Society5.0）の実現に向けた技術革新が進む中、グローバル化や子どもの貧困問題、社会経済的な課題や地域間格差等々、解決の見通しが難しい課題が山積しています。こうした社会の変化を乗り越え、全ての人が、豊かな人生を生きるために必要な力を身に付け、活躍する上で教育の果たす役割は大きいと言えます。予測困難な時代に志高く未来の創り手となるために「自ら主体的に行動し、他者と協働しながら新しいものを生み出し、課題の解決や改善をしていく『生きる力』」を今こそ、目の前の児童生徒に育てていく必要があります。そのためには、新学習指導要領が求める「社会に開かれた教育課程」やそれに繋がるカリキュラム・マネジメントの「教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源も含めて活用しながら効果的に組み合わせる」ことが重要であり、私たち教頭が果たす役割はますます重要になってきています。

このような中、私たち教頭は、学校組織を活性化し、教職員の意識改革・人材育成を推進しながら、児童生徒の「未来を生きる力」を育むと共に、新しい時代の教育に向けた持続可能な学校運営の構築のために働き方改革の着実な具現化を図り、教師にとっても「魅力ある学校づくり」を進めていく必要があります。

学びに向かう人間性等とは「どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか」ということであり、このことは児童生徒のみならず学校教育に携わる私たち全ての者に関わることでもあるのです。ここに教頭会は、常に学ぶ姿勢を忘れず、児童生徒のよりよい成長を願い、強い意志を持つ教育政策への提言能力を備えた職能団体として『未来を生きる力を育む 魅力ある学校づくり』に向けて邁進することを宣言します。

令和2年5月8日

三重県公立小中学校教頭会 第55回定期総会